

事業展開項目	内容(全体計画)	R1 取組実績 Do	評価 Check	改善 Action	R2 計画 Plan	R2 取組実績 Do	
愛知万博記念の森としての保全 地域区別整備	①施設ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・愛工大学生による遊歩施設周辺の森林整備 5/16 除伐、搬出、薪作成(写真1、2) ・CKDとの企業連携による遊歩施設周辺の森林整備及び歩道等補修 4/13、12/7除伐、歩道の補修(写真3、4) ・むささびっ子の森探検隊による森林整備 5/5、6/30、12/22、1/19除伐、歩道整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通り実施(企業、大学、団体等との協働・連携による森林整備、林床整備、歩道整備) ・伐採木の林内残置により景観上の支障がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・林床整理の継続、伐採木の集積方法の改善、目立たない集積 ・伐採木の利活用の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・改善点を踏まえ計画を進める ・企業連携や大学、団体等との協働、連携による森林整備、林床整理及び歩道等補修 ・企業連携や大学、団体等との協働、連携による伐採木の利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの非常事態宣言を受け、愛工大学生の実習による森林整備やCKDとの企業連携による森林整備及び歩道等補修等が中止されている ・むささびっ子の森探検隊による森林整備 7/19除伐、歩道整備 	
	②ふれあいの里	作業体験農地の耕地管理(毎年0.3~0.5ha)	<ul style="list-style-type: none"> ・耕地管理をNPO法人海上の森の会に委託 0.39ha 	<ul style="list-style-type: none"> ・予算に合わせて面積を減らして実施 ・予算の削減による委託面積の縮小 ・委託できない部分の管理方法が課題 	委託面積を減らして委託	<ul style="list-style-type: none"> ・耕地管理をNPO法人海上の森の会に委託 ・委託する面積を縮小 	<ul style="list-style-type: none"> ・耕地管理をNPO法人海上の森の会に委託 0.39ha
		里山環境として保全する農地	<ul style="list-style-type: none"> ・農地保全をNPO法人海上の森の会に委託(作業体験農地を含む) 0.84ha(うち休耕田0.45ha) ・農地及び農地周辺の草刈を業者に委託(品野台造園) 0.58ha(うち休耕田0.35ha) ・企業等連携として農地を貸与(2件) マリアムキッチン0.01ha、カルビー0.01ha 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地保全は予算に合わせて面積を減らして実施 ・農地を活用する企業連携は2社に減少 ・予算の削減による委託面積の縮小 ・休耕田の草刈りの労力の軽減 ・休耕田の維持管理が課題、利用するのなか休耕田のままか ・農地にインシシ槽の侵入が発生した 	<ul style="list-style-type: none"> ・委託面積を減らして委託 ・企業等連携の拡大 ・休耕田の草刈りの労力の軽減 ・インシシ槽の補強・補修が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地保全をNPO法人海上の森の会及び業者に委託 ・企業との連携による農地活用 ・新たな企業等連携先開拓 ・他の維持管理事業の導入の検討 ・インシシ槽の補強・補修を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地保全をNPO法人海上の森の会に委託(作業体験農地を含む) 0.79ha(うち休耕田0.40ha) ・農地及び農地周辺の草刈を業者に委託(品野台造園) 0.72ha(うち休耕田0.45ha) ・企業等連携として農地を貸与(2件) マリアムキッチン0.01ha、カルビー0.01ha
		農地等周辺の間伐等	<ul style="list-style-type: none"> ・海上の森の会(森づくりグループ)等による森林整備(5.66haの一部) ・企業連携による間伐(4社3.92ha) ・新たな企業と企業連携について調整中(1件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・海上の森の会、企業連携は計画通り実施 ・高齢級林施業について県有林と協議したが県有林の施業計画に組み込まれる可能性は低い ・高齢級林の施業の方針が不明 ・企業連携の森林の大径木が伐採困難なため対策が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林保全課、県有林などで大径木の財産管理について検討する必要がある ・他の事業の導入も視野に入れて検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・海上の森の会(森づくりグループ)等による森林整備(5.66haの一部) ・企業との連携による農地活用 ・新たな企業等連携先開拓 ・他の維持管理事業の導入の検討 ・インシシ槽の補強・補修を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・海上の森の会(森づくりグループ)等による森林整備(5.66haの一部) ・企業連携による活動は新型コロナの影響により現在まで中止
	③生態系保護区域	湿地周辺の立木伐採等	大和リース、JXTGにより湿地の除伐を実施 吉A1-3、屋A3-4、屋A2-3	計画通り実施できた	企業の活動では対応が困難な高木の伐採が課題	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して環境局・企業・センターとで3者協定している2企業による湿地周辺の除伐 ・センター事業または他の事業を導入しての高木伐採の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施予定(時期未定)
	④恵みの森	人工林の整備(間伐対象林約30ha) 期間中に15ha間伐	<ul style="list-style-type: none"> ・治山事業による本数調整伐を計画とおり実施(5.1ha)(写真5) 	計画通り実施できたが、材の搬出のための林内路網が4tトラックに対応できず非効率	間伐・搬出のため林内路網の修繕が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な林内路網の修繕を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・林内路網の砂利敷、横断溝設置実施中
		複層林・針広混交林等への誘導(小面積皆伐等)、湿地周辺の立木伐採	<ul style="list-style-type: none"> ・篠B-1、北C-1湿地周辺の除伐を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・湿地周辺の除伐は実施できた ・伐採木残置による湿地の環境悪化 ・林道の荒廃 	<ul style="list-style-type: none"> ・伐採木残置による湿地の環境悪化を軽減するため林床整理 ・現場までの林道の修繕 	<ul style="list-style-type: none"> ・篠B-1、北C-1湿地周辺の除伐の継続 ・篠B-1、北C-1湿地の林床整理 ・林道の修繕、砂利敷 	<ul style="list-style-type: none"> ・11月以降実施予定
	⑤循環の森	人工林の整備(間伐対象林約50ha) 期間中に25ha実施	<ul style="list-style-type: none"> ・予防治山事業 第2号工事、木製谷止工2基(尾張農林) ・企業連携による間伐(1社0.36ha) ・森女養成講座の修了生による森林整備(約0.5ha) 	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐は計画通りできた ・企業連携の森林の大径木の取扱いが課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業連携の森林整備の方法を安全面を考慮し調整する ・企業連携の作業内容を間伐から比較的安全な除伐作業に変更する 	<ul style="list-style-type: none"> ・治山事業による本数調整伐(4.5ha) ・企業連携による間伐(1社0.36ha) ・森女養成講座の修了生による森林整備(約0.5ha) ・企業連携の森に他事業を導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模治山事業 第1号工事、水叩工1基(尾張農林) ・予防治山事業 第1号工事、谷止工3基(尾張農林) ・治山事業による本数調整伐(4.5ha)調査測量実施中 ・ワタミ株式会社および公益財団法人SEFと合同の企業連携による除伐(新規協定2ha) ・森女養成講座の修了生による森林整備(約0.5ha)
		複層林・針広混交林等への誘導(小面積皆伐等)	<ul style="list-style-type: none"> ・実現可能な事業の検討中 	<ul style="list-style-type: none"> ・予算要望に反映できなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる検討、具体的な事業の選択が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・検討を進める 	<ul style="list-style-type: none"> ・実現可能な事業の検討中
	⑥野鳥・古窯の森	大木の生育環境保全・生育不良木等の伐採	生育不良木、危険木の伐採を実施	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な伐採は実施できた 	<ul style="list-style-type: none"> ・つる植物による樹木の生育疎外が見られるため散策路付近のツル伐りの実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な伐採、ツル伐りを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・生育不良木、危険木の伐採を実施
自然環境の保全	県委託調査(ローテーションで実施)(瀬地域環境計画名古屋支社)	<ul style="list-style-type: none"> ・猛禽類調査を業者に委託(瀬地域環境計画名古屋支社) 	<ul style="list-style-type: none"> ・予算に合わせ計画通りできた ・恒常的な予算削減による事業規模の縮小 	<ul style="list-style-type: none"> ・委託内容を縮小して事業を計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホトケドジョウ調査(委託) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホトケドジョウ調査を業者に委託(テノ中部株) 	
	他調査(生物季節調査、モニタリングサイト1000等)との連携、専門家意見聴取・情報の収集・発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ほ乳類調査(自主調査)、稀少動物生息状況調査(ムササビ・ホトケドジョウ)、他調査(生物季節調査、モニタリングサイト1000)との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りできた ・恒常的な予算削減 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を縮小して実施 ・職員の実動など人的要因による自主調査の縮小 	<ul style="list-style-type: none"> ・猛禽類調査(自主調査)、稀少動物生息状況調査(ムササビ・ホトケドジョウ)、他調査(生物季節調査、モニタリングサイト1000)との連携、調査報告書の発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほ乳類調査(自主調査)、稀少動物生息状況調査(ムササビ・ホトケドジョウ)、他調査(生物季節調査、モニタリングサイト1000)との連携 	



写真1 愛工大学生による遊歩施設周辺の森林整備



写真2 愛工大学生により生産された薪



写真3 企業連携による歩道補修



写真4 企業連携による森林整備



写真5 搬出した木材

事業展開項目	内容 (全体計画)	R1 取組実績 Do	評価 Check	改善 Action	R2 計画 Plan	R2 取組実績 Do
体験学習の実施	里と森の教室 毎年10回程度	・海上の森の会へ委託 9回(委託)、1回(自主活動)	・計画通り実施 ・予算の削減による事業への影響	・事業規模を縮小して計画 ・夏季の作業時間を短縮して実施	・9回(委託)	・海上の森の会へ委託 8回(委託)、1回(自主活動) (写真6)
	調査学習会 毎年3回程度	・海上の森の会へ委託(1回) 7/28	・計画通り実施 ・予算の削減による事業への影響	・他の事業規模を縮小して計画	・1回(委託)	・海上の森の会へ委託(1回) 8/23 (写真7)
	森の楽校 毎年2回程度	・よりあい工房ばんどりへ委託(2回) 5/4、11/23	・計画通り実施 ・予算の削減による事業への影響	・事業規模を縮小して計画	・1回(委託)	・委託予定(1回) 12/6
	県民参加による森林環境教育プログラム	・海上の森の会による四季のイベント、自然ウォッチング、木工芸教室 ・NPOチームばんどりによる環境教育プログラム ・「みのむしックス」や「森のバレット」による自然教育プログラム(H30R1森の自然教育修了者のグループ) ・H28フォーラム参加団体による環境教育プログラム せと環境塾(リダテルABO) ミニセミナー、クロス/ハナの巣箱展示(全国地蜂連合会)	・新たな協力団体も加わり計画通り実施できた	・海上の森アカデミー修了者等の活動団体への支援	・継続して海上の森アカデミー修了生等との協働等による森林環境教育プログラムの開発・実施 ・多様な団体との協働による環境教育プログラムの実施	・海上の森の会による四季のイベント(5~6月中止)、自然ウォッチング、木工芸教室 ・NPOチームばんどりによる環境教育プログラム むささびっ子の森くらぶ・たんけん隊・開拓団 (写真8) ・「みのむしックス」による自然教育プログラム(H30森の自然教育修了者のグループ) ・森女修了生による「ホネツバチ」の巣箱展示、巣箱作り
人材の育成	あいち海上の森大学 (万博余剰金を活用した事業のためH28で終了)					
	指導者養成講座(森林施業技術者・インテリブター等)	・森と緑づくり事業による海上の森アカデミーの開催 ①森の自然教育コース(5~6月)全5回、定員12名 ②森女養成コース(9~11月)全6回、定員11名 ③里山暮らしコース(11~12月)全5回、定員10名 ④基礎講座(1~3月)定員30名中止	・コロナウイルス対策で中止した④の基礎講座以外は計画通り実施できた ・受講者のアンケートの結果も良好であった	・プログラムの内容の修正・見直しを行いながら継続して実施する ・新たな受講者の募集先の開拓	・講師と反省会の内容を反映させたカリキュラムを企画 ・森と緑づくり事業による海上の森アカデミーの開催 ①森の自然教育コース ②森女養成コース ③里山暮らしコース ④基礎講座	・森と緑づくり事業による海上の森アカデミーの開催 ①森の自然教育コース(5~6月)全5回、定員10名で実施予定であったが、新型コロナウイルスの影響で中止となった 今後、2月に延期して実施する予定で計画中 ②森女養成コース(10~11月)全6回、定員9名募集終了 ③里山暮らしコース(11~12月)全5回、定員10名で実施予定 ④基礎講座(3月)定員20名で実施予定
	人と自然の共生国際フォーラム (万博余剰金を活用した事業のためH28で終了)					
	シンポジウム等	・ミニセミナーの開催 2月末までに7回 今後は3月に1回 ・コケむす会との共催によるコケワークショップ(11/27)およびコケ写真展(11/10~12/20) ・海上の森フォーラムの支援(11/10)	・計画以上に実施できた ・ミニセミナーの毎月開催は困難	・内容が単調化するのを防ぐため新たな話題提供者の開拓 ・ミニセミナーの開催数を減らす、年6回程度 ・ミニセミナーは講座ではなく情報提供・交流の場としての位置づけを浸透させる	・ミニセミナーの開催(6回程度) ・海上の森フォーラムの支援	・ミニセミナーは新型コロナ対策のため10月まで中止、その後の再開については未定 ・コケむす会との共催によるコケ写真展を計画中(11月)
NPO法人海上の森の会等との協働体制づくり	・海上の森フォーラムの支援 ・海上の森の会への体験学習の委託 ・海上の森の会自主事業の支援 ・あいち海上の森交流会(旧あいち海上の森大学同窓会)の活動支援 「夏休みの自由研究をサポート」7月~8月全7回 「第2回海上の森で発表会」3/29予定	・計画通り実施 ・新しい形での協働先・手法の開拓ができた	・引き続きの協働・連携先の開拓	・海上の森フォーラムの支援 ・体験学習の委託 ・自主事業の支援	・海上の森の会への体験学習の委託 ・海上の森の会自主事業の支援 ・あいち海上の森交流会(旧あいち海上の森大学同窓会)の活動支援 「センスオブワンダー」8月全5回開催	
普及・情報発信	インターネット始めSNSの活用、海上の森調査報告書、ムーアカデミー情報誌発行等	・2月末までに、ムーアカデミー通信の発行(3回)、Twitter98本・Facebook99本・Youtube3本の発信、「自然観察ガイドブック」等の有償頒布80冊	・定期刊行物、随時の情報発信など速やかに実施できた ・全体的な予算削減による事業規模の縮小	・定期刊行物の発行回数を減らすなど事業内容を縮小して計画	・Twitter Facebook、Youtube等による情報発信、調査報告書・ムーアカデミー通信の発行、学習教材「自然観察ガイドブック」の有償頒布	・8月末までに、ムーアカデミー通信の発行(1回)、Twitter13本・Facebook13本・Youtube0本の発信、「自然観察ガイドブック」等の有償頒布50冊 (写真9)



写真6 里と森の教室



写真7 調査学習会(海上の森の水生生物)



写真8 むささびっ子の森開拓団



写真9 有償頒布図書

事業展開項目	内容(全体計画)	R1 取組実績 Do	評価 Check	改善 Action	R2 計画 Plan	R2 取組実績 Do
つ森くりに 里山の学習と交流の拠点	普及・情報発信	<ul style="list-style-type: none"> モデル事例提供・NPO交流拠点・ネットワーク形成 「NPO・グループ活動発表ひろば」の開催(2月)参加12団体 NPOなどの活動現場におけるリスクマネジメントに関するワークショップの開催(3/24)コロナの影響で中止 	<ul style="list-style-type: none"> NPOなどの活動団体の交流の場としてパネル展示による情報発信の場を提供できた 	<ul style="list-style-type: none"> 参加団体が増えてきた場合に団体の分野ごとに展示期間を分けることも検討 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きNPOなどの活動団体の交流の場、ワークショップ等を開催する 	<ul style="list-style-type: none"> 「NPO・グループ活動発表ひろば」(仮称)開催(2月)予定 NPOなどの活動現場におけるリスクマネジメントに関するワークショップ開催(3月)予定
	本館・遊歩施設・里山サテライト・案内看板、トイレ、駐車場等の適正な管理	<ul style="list-style-type: none"> 自動ドア修繕 コンセント回路改修工事 エレベーターロープ交換工事 その他の施設管理などは計画通り実施 	<ul style="list-style-type: none"> 予算の範囲で必要な修繕・施設等の管理ができた 	<ul style="list-style-type: none"> 修繕箇所ごとに見積を準備し、本庁と情報を共有し連携を図る その他予算削減が影響するものは規模を縮小して事業計画 	<ul style="list-style-type: none"> 本館2階3階の雨漏り修繕 フラインチラー交換 本館床修繕 散策路などの環境改善(草刈、危険木伐倒)、境界伐開、巡視の励行、施設修繕、清掃、警備、廃棄物処理、樹木管理 展示物の更新 	<ul style="list-style-type: none"> エコトイレの配管水漏れ修繕 エコトイレの電磁弁修繕 エコトイレの浄化槽ポンプ修繕 身障者用エコトイレのバルブ交換 蘭玉広場の引込線電柱立替 その他の施設管理などは計画通り実施中(写真10, 11)
協働・連携の推進	県民参加組織(NPO法人海上の森の会、あいち自然ネット等)との連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> 海上の森の会と協働でイノシシ対策のため農地内の民有地の草刈および柵の設置(0.1ha)(写真12) ダンロップ、日本ユネスコ協会連盟6/22開伐、樹皮の皮むき 海上の森の会との連携(調査・森林・農地管理) 山の会々々ら、名古屋ASOとの清掃ハイキング(11/17) コケむす会との共催によるコケワークショップ(11/27)およびコケ写真展(11/10~12/20) あいち里ラボのイベントに海上の森の会と共同で出展参加(11/23) 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 連携先が増えてきたことで、センターが対応できない事態が生じてきている(駐車場、施設、人員) 	<ul style="list-style-type: none"> 行事の日程の事前調整 駐車場整理への協力依頼 連携団体とのかかわり方の改善 自主的で自立した団体との連携・協働 	<ul style="list-style-type: none"> 海上の森の会との連携(調査・森林・農地管理)、その他団体との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 海上の森の会と協働で調査学習会の現場の草刈(8/19,20) 海上の森の会との連携(調査・森林・農地管理) 山の会々々ら、名古屋ASOとの清掃ハイキング(11/15)実施予定 コケむす会との共催によるコケ写真展(11月)実施予定
	地元地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> せと環境塾「自然の中で学ぼう! ~こんなところに!? 国技・算数~」に協力(4/21) センターイベントをせと環境塾の一部に位置づけ、広報せとに掲載 山口連区へのイベントチラシ等の配布 農事組合水路清掃(4/21)、山口ホテルの会草刈(7/21) 山口地区の赤道の改修(2/27) 	<ul style="list-style-type: none"> 計画以外にも相談された事案には対応できた 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、地元地域との連携をとっていく 	<ul style="list-style-type: none"> せと環境塾の事業に協力 センターイベントをせと環境塾の一部に位置づけ、広報せとに掲載 山口連区へのイベントチラシ等の配布 水路等地元清掃活動や環境整備への参加協力 	<ul style="list-style-type: none"> センターイベントをせと環境塾の一部に位置づけ、広報せとに掲載 山口連区へのイベントチラシ等の配布 水路等地元清掃活動や環境整備への参加協力
	小中高等学校・大学(学外授業・調査等)との連携	<ul style="list-style-type: none"> 学外講義・野外学習: 聖霊学園中高、名古屋大学、名古屋工業大学、愛知工業大学等 調査、研究協力: 名古屋大学、名古屋工業大学、愛知学院大学、愛知工業大学、名古屋産業大学等 	<ul style="list-style-type: none"> 協力要請のあったものに関しては全て実施できた 	<ul style="list-style-type: none"> 学生の学習などの場合には現場の事前の安全確認や環境整備が必要なため、事前の調整や準備を十分に行う 小中学校に関しては学校カリキュラムの関係で学校からの自発的な取り組み以外はこちらから売り込んで難しい、相談には積極的に対応する 	<ul style="list-style-type: none"> 小中高等学校の総合学習・環境学習への協力、大学の学外講義・実習、調査、研究等への協力(必要に応じて) 	<ul style="list-style-type: none"> 学外講義・野外学習: 名古屋大学、愛知工業大学 等 調査、研究協力: 名古屋大学、名古屋工業大学、愛知学院大学、愛知工業大学、名古屋産業大学、人間環境大学 等
	関連施設等との連携	<ul style="list-style-type: none"> 環境学習スタンプラリーの協力 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 	<ul style="list-style-type: none"> スタンプの設置場所の改善 	<ul style="list-style-type: none"> 愛知県環境学習施設等連絡協議会(AELネット)等との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 環境学習スタンプラリーの協力
	企業連携(森林整備等)	<ul style="list-style-type: none"> 人工林整備・森林環境保全活動(6社,3.09ha) 新規1社と企業連携することが決まり年度内に覚書を締結する予定 	<ul style="list-style-type: none"> 森林環境活動などは計画通り実施 新規連携企業の開拓ができた 	<ul style="list-style-type: none"> 農地や森林から派生する活動での連携 参加団体にとって利点のある企画の提供 	<ul style="list-style-type: none"> 人工林整備・森林環境保全活動、新規連携の開拓 参加団体の取り組みを展示などで紹介 	<ul style="list-style-type: none"> 人工林整備・森林環境保全活動(7社,5.09ha) ワタミ株式会社および公益財団法人SEFと合同で新規に覚書を締結(4/1)
	海上の森サポーターに対する活動支援	<ul style="list-style-type: none"> センター行事のチラシを配布した 清掃活動への支援 竹林整備への支援(道具、資材など) 本館の門松作成への支援(道具、資材など) 	<ul style="list-style-type: none"> 合意ができた活動について必要な支援を実施した 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な活動に対する支援要請には随時対応していく 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> センター行事のチラシを配布した 清掃活動への支援(11/15予定) 竹林整備への支援(道具、資材など) 本館の門松作成予定(道具、資材など)



写真10 危険木の除去

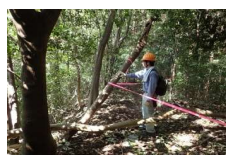


写真11 巡視の励行



写真12 イノシシ柵の設置